

SEIKO EG&G

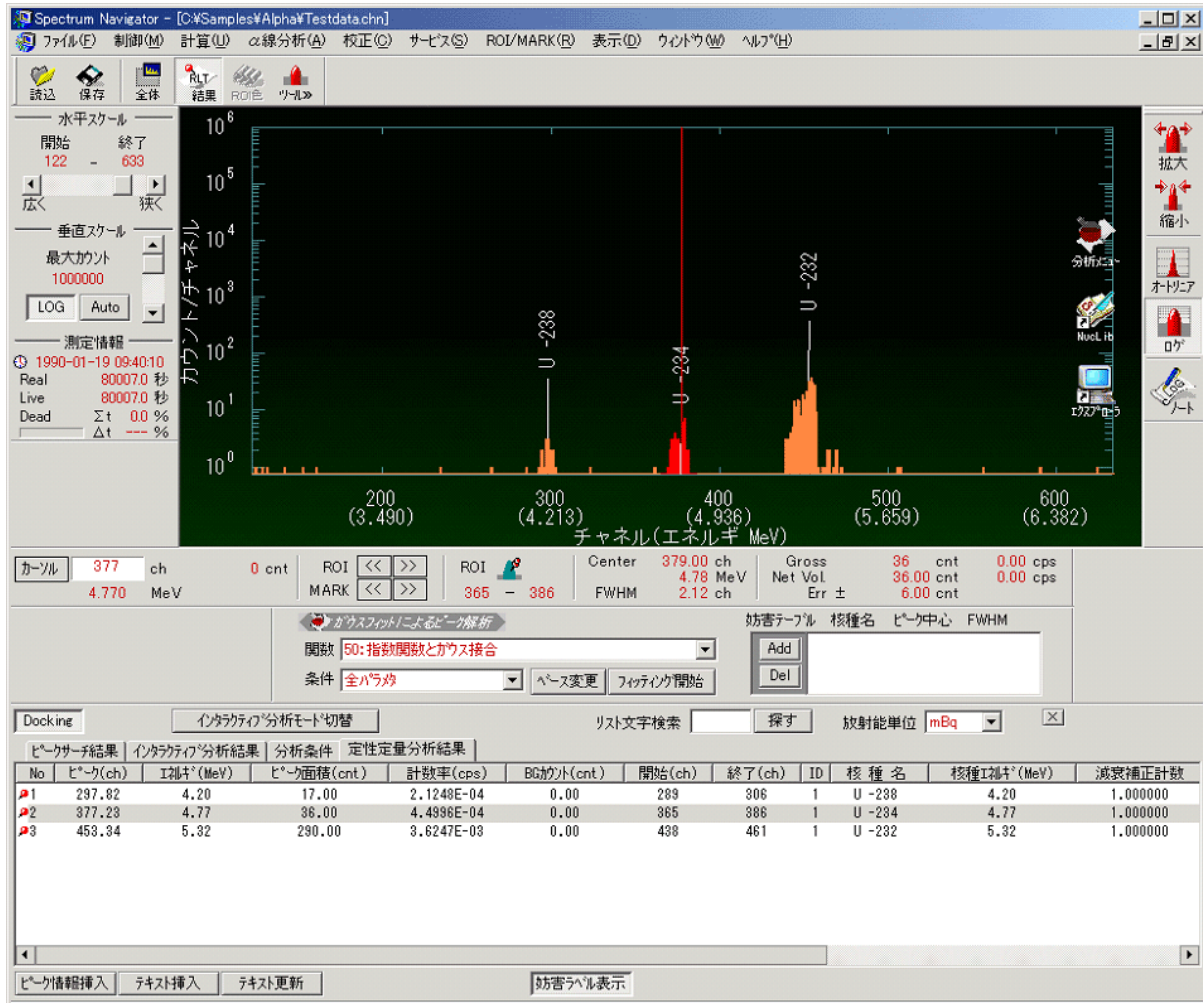
α 線核種分析

スペクトルナビゲータ/ガンマスタジオ用 アドインプログラム
文部科学省「プルトニウム分析法」(平成2年度改訂)に対応

for Microsoft Windows XP^{PRO} (32bit) / 7^{PRO} (32bit/64bit^{NEW})

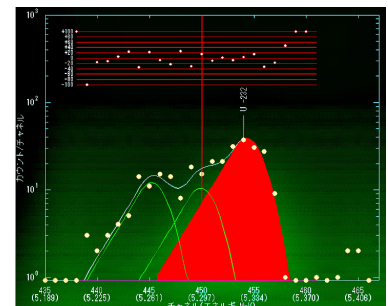
α 線核種分析プログラム

α 線核種分析アドインプログラムは、平成2年度に改訂されました文部科学省指針「プルトニウム分析法」に対応した超ウラン元素の分析を行うことを主目的としています。
当社標準プログラムであるスペクトルナビゲータまたはガンマスタジオに追加インストールすることにより、お使いのプログラムをα 線核種分析プラットフォームへと機能拡張します。
更には関数適合を行うことで、当社従来製品と比べ、より精度の高いピーク分析が可能です。



関数適合によるピーク分析

多数の適合関数モデルを用意しておりますので、複雑に複合し合ったスペクトル分析においても精度の高いネット面積計算が行えます。

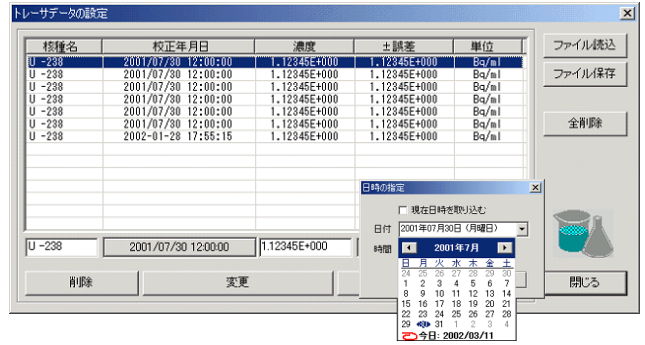


スペクトルナビゲータおよびガンマスタジオの全機能を継承

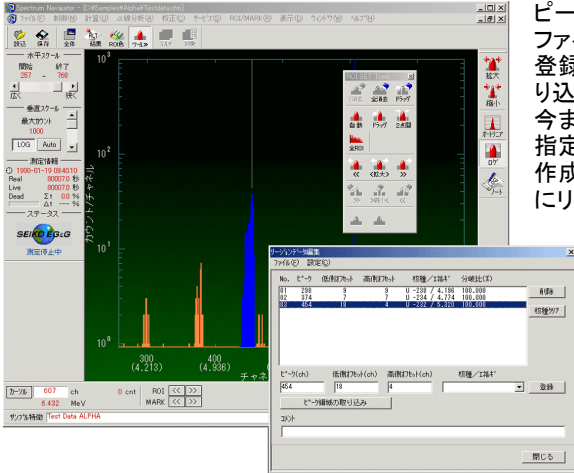
スペクトルグラフや分析結果をワープロや表計算ソフトに貼り付ける機能など、スペクトルナビゲータおよびガンマスタジオの持つ多彩な機能を継承したα 核種分析プラットフォームをご提供いたします。
操作性も共通となりますので、既にスペクトルナビゲータやガンマスタジオをお使いのお客様には、最小限のトレーニングのみでご使用いただける様に設計しております。

トレーサデータの編集

トレーサ法による分析で使用されるトレーサデータファイルが、表計算ソフトの感覚で作成できます。また、作成されたトレーサデータは任意のファイル名で保存できますので、目的ごとにトレーサデータを管理することが可能です。



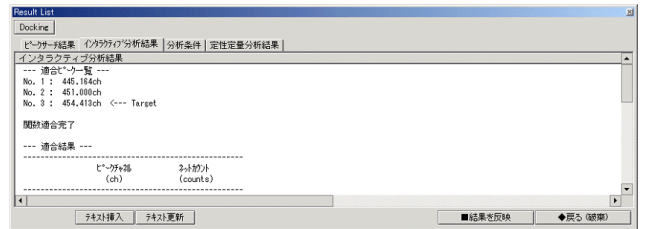
リージョンデータの編集



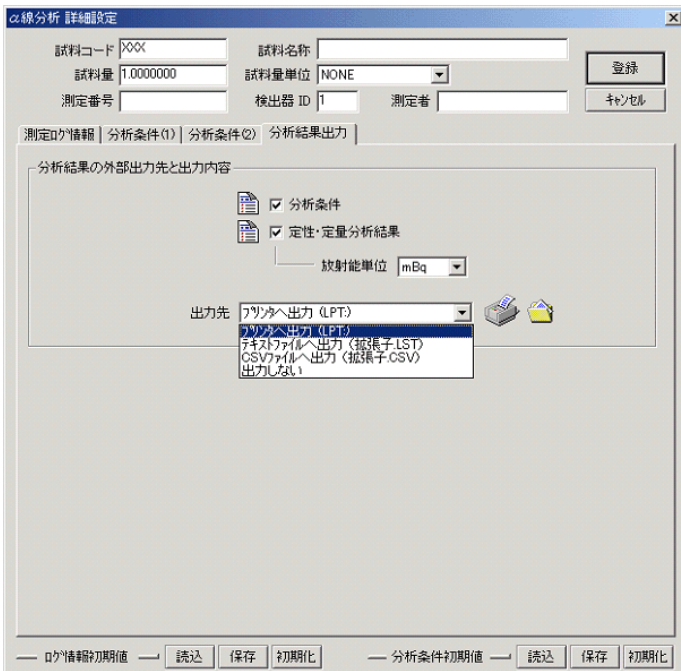
ピーク領域をリージョンデータから決定する場合に参照される「リージョンデータファイル」が簡単に、かつ視覚的に作成できます。登録方法は、スペクトルを見ながら目的のピークにROIを付け、そのデータを取り込むだけ！
今までの様に開始・終了チャンネルを入力すること無く、スピーディーかつ正確に指定可能です。
作成されたリージョンデータは任意のファイル名で保存できますので、目的ごとにリージョンデータを管理することが可能です。

インタラクティブ分析結果を帳票に反映

インタラクティブガウスフィッティングまたはコベル法により再計算されたネット面積は、指定により分析結果(帳票および分析結果ファイル)にフィードバックさせることができます。もちろん放射能値も自動的に再計算されます。



分析結果をさまざまなフォームに出力



さまざまなフォームによる結果出力を標準で備えています。

プリンタ出力フォーム
『分析条件』帳票
『定性・定量分析結果』帳票

これらの全ての帳票は、**出力先を自由に選択**できます。
プリンタ
テキストファイル
CSVファイル
出力しない

分析結果をテキストや CSV ファイルに出力することにより、分析結果をワードやエクセルなどで加工し、オリジナルの帳票をつくるのが容易になりました。また、お客様の作ったプログラムに分析結果を引用することも容易に行えます。

動作環境

動作条件	DS-P300 スペクトルナビゲータまたは DS-P600 ガンマスタジオがインストールされていること。
------	--

分析仕様

核種分析	平成2年度版 文部科学省「プルトニウム分析法」に対応
分析モード	放射能計算方法として以下から選択可能 <input type="radio"/> 計数効率法 効率校正により求めた計数効率で用いた放射能計算 <input type="radio"/> トレーサ法 既知放射能のトレーサ核種を用いた放射能計算 ※いずれの手法においても指定により「回収率」が計算可能
ピーク分析法	ピーク分析方法として以下から選択可能 <input type="radio"/> ピークサーチ法 ガウス平滑化2次微分フィルタを用いたピーク領域の決定 <input type="radio"/> ROI 法 ROIファイルを用いたピーク領域の決定 <input type="radio"/> リージョン法 リージョンデータファイルを用いたピーク領域の決定
検出判定	分析条件として以下から選択可能 <input type="radio"/> 無条件 従来どおり、定性許容範囲にある全ての核種を同定 <input type="radio"/> 1st ピークの検出により検出を判定 核ライブラリで指定されている第1定量ピークの検出をもって核種同定とする
補正	<input type="radio"/> バックグラウンド成分の除去 <input type="radio"/> 希望する日時への減衰補正
印刷機能	<input type="radio"/> 分析条件 <input type="radio"/> 定性・定量分析結果
ファイル出力	<input type="radio"/> α 線核種分析結果 <input type="radio"/> 印刷機能の全ての帳票をテキストイメージでファイル出力 <input type="radio"/> 印刷機能の全ての帳票をCSVファイル出力
エネルギー校正	スペクトルナビゲータまたはガンマスタジオ標準エネルギー校正機能を使用 ※最小自乗法による1次式または2次式での校正 ※エネルギー校正データは任意のファイル名で登録可能
効率校正	校正モード <input type="radio"/> マニュアル効率校正 既知の計数効率をマニュアル登録 <input type="radio"/> 自動効率校正 標準線源スペクトルをピーク分析し、自動的に計数効率を計算 ※効率校正データは任意のファイル名で登録可能
リージョンデータ作成機能	スペクトルにROIを設定する感覚で、リージョンデータの編集が簡単に行える ※最大登録リージョン数 : 256 ピーク ※リージョンデータは任意のファイル名で登録可能
トレーサデータ作成機能	最大99トレーサデータの登録が可能 (1つのファイルあたり) ※トレーサデータは任意のファイル名で登録可能

※ 本カタログに記載の機能・画面レイアウト等については、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2014年8月 Rev.2.0



セイコー・イー・ジー・アンド・ジー株式会社

本社・東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル6F 〒104-0032
 電話番号: 03-5542-3101(代表) ファクシミリ: 03-5542-3109
<http://www.sii.co.jp/segg/>

営業課 中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル6F 〒104-0032
 営業推進課 中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル6F 〒104-0032
 大阪営業所 豊中市新千里西町 1-1-4 千里中央ツインビル別館 1F 〒560-0083
 水戸営業所 水戸市大町 1-2-40 朝日生命ビル 5F 〒310-0062
 札幌営業所 札幌市中央区南十条西 6-6-18 札幌南十条ビル 2F 〒064-0810
 カスタマーサービス 千葉市美浜区中瀬 1-8 〒261-8507

電話番号: 03-5542-3104 ファクシミリ: 03-5542-3109
 電話番号: 03-5542-3105 ファクシミリ: 03-5542-3109
 電話番号: 06-6871-8494 ファクシミリ: 06-6871-8495
 電話番号: 029-227-4474 ファクシミリ: 029-227-7734
 電話番号: 011-552-2558 ファクシミリ: 011-552-6685
 電話番号: 043-211-1306 ファクシミリ: 043-211-8205